



このインタビューの動画をご覧になりたい方は下記にアクセスしてください。



イベントでも一緒にいるのは信頼できる人ですね。誠実で嘘をつかずに、真正面向き合ってくれる人。格闘技もそうです。正々堂々と真っ向勝負してくれる相手とは試合中に心がつながります。僕、試合中によく笑っているんですが、仲のいい友達と遊んでいるような感覚になります。

中尾: 試合中に拳で会話をしているように見える瞬間がありますよね。われわれも信頼してもらうことが大切。何よりも重要なのはお客様の立場になってより良い提案を考えることです。

武尊選手は次に何を目標としていますか？

武尊: またリングに立ちたいので、万全な状態でリングに

上がれるようにコンディションを整えることが今一番やるべきことだと思っています。ずっと勝ち続けていた頃、1回でも負けたら引退すると決めていたので、この前の試合で負けた後、引退しか考えていなかった。でもたくさんのファンから「今まで戦ってくれてありがとう」という言葉ももらって、そう思っていてくれる方へ恩返しをしたいと強く思いました。応援してくれる皆さんに勝つところを見せるというのが一番の目標です。

中尾: 武尊選手と話をして応援したいという気持ちがさらに強くなりました。今後もリングでの活躍を期待しています。

武尊: ありがとうございます。頑張ります。



金融のベストパートナーと新しい未来へ

金融商品仲介業とは

金融商品仲介業は Independent(独立系) Financial(金融) Adviser (アドバイザー)の略称で、IFAは複数の証券会社・保険会社の商品をご提案できるため、お客様に適した金融商品を提供することが可能であり、よりお客様本位のご提案ができるのが特徴です。

サービス

時の流れによってライフステージは変化し、それに合わせてお客様の悩みやライフプランも変わります。ファーストパートナーズでは、お客様の生涯を共に歩むパートナーとして資産の管理、運用など様々なご要望に対し、最適なお提案をワンストップで行います。



証券会社(所属金融商品取引業者)



生命保険会社



株式会社ファーストパートナーズ 関東財務局長(金仲)第800号

〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビルディング4階 TEL:03-6804-1511 ※東京本社以外に、名古屋、京都、大阪支店あり

弊社は「金融のベストパートナー」として夢を実現しようとする人を応援しています。

この度、ご縁をいただきK-1のスポンサー契約を締結致しました。

ファンの皆様とともに全力で応援させていただきます。

僕はやめない

挑戦を

常に前へ

応援します

歩む人を

目標に向かって



THE MATCH 2022を終えて、また次なる戦いへと動き始めた武尊選手。怪我をしようとも、心が折れそうになっても、彼を前へと突き動かすものは何なのでしょう。金融のベストパートナーとして夢を実現しようとする人を応援し続ける株式会社ファーストパートナーズ代表取締役の中尾剛さんが武尊選手の本音に迫ります。



金融のベストパートナーと新しい未来へ



僕が楽しむことで
勇気とパワーを
与えたい

武尊

TAKERU

“ナチュラル・ボーン・クラッシャー”と呼ばれるK-1ファイター。スーパー・バンタム級、フェザー級、スーパー・フェザー級と前人未到・K-1史上初の三階級制覇を成し遂げる。



中尾 剛

GO NAKAO

大手証券会社を経て、2016年に(株)ファーストパートナーズを33歳で起業し、現在、代表取締役を務める。2022年6月のTHE MATCH大会スポンサー、そしてK-1のオフィシャルスポンサーを決定。アマフトXリーグのアズワンブラックイーグルスに所属していた。



信頼を得るための
努力は
惜しまない

K-1へと押し上げてくれたすべての人に恩返しを

負け続ける日々、 努力をすることの大切さを学んだ

中尾：格闘技を始めたきっかけは？

武尊：小学生の時にK-1を見たんですが、体の小さなアンディ・フグ選手が自分より大きい人を倒していたのが、ウルトラマンが怪獣を倒しているみたいに格好良くて。空手をやったら強くなれると空手道場に通い始めました。

中尾：僕もアンディ・フグ選手のかかと落としを見て憧れました。

武尊：当時、体が小さく、女子にも負けてしまうぐらい弱くて、大会でもほとんど勝ったことがないんです。その時に、負ける経験をたくさんしたおかげで、負けるのが嫌いになったし、負けないように練習をたくさんしなければという気持ちになりました。

中尾：僕もアメリカンフットボールをしていた頃体が細くて、必死にウェイトトレーニングをしないと試合に出させてもらえなかったのが、よく分かります。武尊選手は最初から格闘技を仕事にしようと思っていたのですか？

武尊：元々子供が好きで、保育士の学校に通っていたのですが、そこを辞めた時に、本気で格闘技をやろうと思いました。それでタイで修行したんですが、同年代の選手たちは家族を養うために必死に格闘技をやっていた。そんな姿を見て、格闘技に対する考え方が変わりました。

中尾：2011年にプロの格闘家になり、さらに意識は変わりましたか？

武尊：アマチュアは結果が全て。勝敗という結果しか残りませんが、プロになると観客やファンの方がいます。そうした方々の心にどれだけ残せるのかを考えてリングに上がるようになりましたね。見ている人にパワーを与えたいんです。中尾さんは30代で起業して以前の会社員時代と意識は変わりましたか？

中尾：6年前にファーストパートナーズを立ち上げた当時はお客様にどうしたら信頼してもらえるのか、寝ずに考え



©STR

ていました。そういった時代があったからこそ、信頼を勝ち取って顧客数を増やし、今は東京だけではなく、名古屋、京都、大阪を拠点に全国で活動できているのだと思います。

自分が楽しむからこそ、 みんなに勇気を与えられる

中尾：武尊選手がプロとして大切にしていることを教えてください。

武尊：僕自身が試合を楽しむ姿を見せないと、それを見ている人も楽しめないと思っています。僕は小さい頃からK-1チャンピオンになるという目標を持っていましたが、チャンピオンになってからは、自分の人生を素晴らしいものにしてくれたK-1に恩返しをしたいというのがモチベーションになっています。僕をここまで育ててくれたK-1を、今度は僕がもっと大きくしたいんです。

中尾：今、ファーストパートナーズには80人ものメンバーがいて、僕には彼らの生活に対して責任がある。プレッシャーが大きくて押しつぶされそうになるんですが、武尊選手の試合を見ていると前に向かう力が湧き出てきます。武尊さんは試合前に必ずするルーティンやげん担ぎはありますか？

武尊：勝ち続けるほど負けることが怖くなって、げん担ぎをしたくなるんです。代表的なのが数字。チャンピオンになってからは下駄箱やロッカー、駐車場なども必ず1を選びます。色もそう。格闘技でチャンピオンコーナーは赤、挑戦者は青なので、基本的に私服でも青いものは着ないようにしています。

また、オリンピックなどでは金が1番なので、アクセサリーは全部ゴールドですね。

中尾：減量も含めて、試合前のつらい練習に耐える秘訣はありますか？

武尊：当時はチャンピオンにならなかつたら格闘技をやっている意味がないと思っていたので、練習にしても減量にしても「もっとやろう」と勝手にスイッチが入っていました。勝ち続けると、今度は負けることが怖くなって、負ける可能性が0.1%でもあればそれを下げようと努力していました。

中尾：試合中でもスイッチの入る瞬間がありますよね？

武尊：ファイターズハイがあって、相手の動きがスローモーションのように全部見えてくる。攻撃を受けても痛くなくなるし、ここに動くだらうなとパンチを出したら当たる瞬間があります。

パートナーに求めるのは信頼

中尾：武尊選手は格闘技以外にもいろいろとこだわりを持っていますが、格闘技以外で思い描いている夢はありますか？

武尊：人生1回なので、ビジネスを含めて格闘技と違うことにもチャレンジしたいですね。

中尾：われわれは経営者の事業をサポートし、夢を応援するのも大切な仕事。武尊選手は仕事のパートナーに何を求めますか？

武尊：信頼です。有名になるにつれていろいろな人と関係を持ちますが、本当に信頼できる人はそんなにいません。ブラ